

R4年度 事業名	治山事業			
R3年度 事業名	治山事業			
総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化

PLAN (計画)	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	小規模な山崩れ、土石流、地すべり、なだれなどの山地災害により、住宅や公共施設などが災害を受ける恐れがあるところに、治山施設を設置して市民の生命、財産を保全する。					
	概要	山腹工(山腹法面を安定させる土留工)や溪間工(山脚・溪床を固定するための治山ダム)を行う。小規模荒廃地治山事業(県:50%、市:37.5%、地元:12.5%)					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	山腹工、溪間工等治山施設を設置を民間業者に発注する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
溪間工、山腹工の実施箇所数		箇所	目標値	1	4	2	3	2
			実績値	1	2	2		
計算 根拠	実施箇所数		達成率	100	50	100		
			実数値					
			ランク	A	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,500	2,500	5,800	6,600	6,200		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	2,500	2,500	6,000	6,600			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	502	治山事業費	6,200	6,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,200

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	治山事業負担金(地元:12.5%)	4,275
2	治山事業費補助金(県:50%)	1,100
3	林道整備事業債	800
4		
5以降		
合計		6,175

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	小規模な山腹崩壊などの山地災害により家屋への被害を防止するため、コルゲートフリューム等の治山施設を整備する。 ・西大井町(コルゲートフリューム、谷止工) ・南井町(コルゲートフリューム、ふとんかご工) ・西番町(ブロック積工13m2)
来年度の実績	西大井町、西番町の治山施設整備を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	予算計上に向け、事業に対する地権者や地元集落の合意を十分に確認する。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	道路交通安全対策事業			
R3年度 事業名	道路交通安全対策事業			
総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	道路反射鏡や防護柵等を設置し、通行者や住民が安全で円滑な通行ができる道路交環境を確保する。				
	概要	道路交通安全のため、区画線、道路反射鏡、防護柵(ガードレール・ガードパイプ・転落防護柵)、視線誘導標等の交通安全施設の整備・補修を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠	道路交通法	実施 形態	内容	区画線、道路反射鏡、防護柵(ガードレール・ガードパイプ等)、視線誘導標等の交通安全施設の設置・補修を民間に発注する。	
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
交通安全対策実施箇所数		箇所	目標値	45	45	45	80	80
			実績値	52	47	61		
計算 根拠	交通安全施設の整備・補修実施箇所数	達成率	115.6	104.4	135.6			
		実数値						
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	11,400	11,400	11,400	11,330	11,330		事業タイプ	単独事業
	決算額	11,392	11,396	11,398	11,329			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	8	2	2	401	交通安全施設維持補修費	1,330	1,330	
2	8	2	2	501	交通安全施設整備費	10,000	10,000	
3								
4								
5以降								
							合計	11,330

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	交通安全対策特別交付金	10,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		10,000

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <b>統合</b>
取組内容	パトロールを実施し、区画線・道路反射鏡・防護柵等の整備および維持補修を行う。
来年度の実績	パトロールを実施し、区画線・道路反射鏡・防護柵等の整備および維持補修を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	路面標示(区画線)である交通安全施設は、3年に1度程度の塗り直しが必要であるが、現状では5年~10年に1度しか塗り直しができおらず、各地区で路面標示(区画線)が消えかけている路線が数多く存在している。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	路面標示(区画線)を3年に1度程度は塗り直しを実施し、適切な維持管理を行い、交通の安全を確保したい。 特に、全国的に通学路における交通事故が発生しているため、小学校周辺の通学路の安全を確保するため、予算の拡充を必要とする(予算の増額)
R5方向性⇒	<b>事務改善(手段・サービス水準の見直し)</b>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	市道整備(改良・舗装)工事		
R3年度 事業名	市道整備(改良・舗装)工事		
総合戦略 体系	433	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち
		交通安全の推進	

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市道の整備を行い、通行者や住民に対し交通の安全性や利便性の向上を図る。				
	概要	安全・安心な道路環境を確保するため、通学路の交通安全対策や事故の危険性の高い交差点の通行安全対策などの整備を実施する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	道路法 民間等委託(一部)	実施 形態	内容	測量設計業務の民間委託および道路改良工事や舗装工事を民間業者に発注する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
安全確保のため緊急を要する工事・補修箇所数		箇所	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	65	62	72		
			達成率	108.3	103.3	120		
計算 根拠	工事・補修対応箇所数		実績値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	91,810	101,735	107,682	147,970	147,970		事業タイプ	単独事業
	決算額	91,810	101,735	107,682	147,969			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	2	3	201	道路整備事業費(単独)	147,970	147,970	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	147,970

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	(市債:公共施設等適正管理推進事業)	
2	(市債:緊急自然災害防止対策事業債)	
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	1.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	14
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	道路側溝や舗装等の改良工事を実施する。 市道つつじヶ丘1号線道路改良工事(他59箇所)
来年度の実績	道路側溝や舗装等の改良工事を実施した。 市道舟津17号線舗装改良工事(他71箇所)
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	安全で快適な道路を維持するため、生活道路(市単)における舗装等の老朽化が各地区で著しく進行しているため、区長より多くの土木行政要望が提出されている。また、近年、交差点での事故防止のための注意喚起の路面標示や区画線の要望も増大していることから、持続的な予算確保が必要である。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	見直し年度であるが、道路通行の安全確保のためには老朽化する舗装や側溝など、道路施設の継続した整備または維持管理を行う必要がある。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	林道事業(県補助)			
R3年度 事業名	林道事業(県補助)			
総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	森林の適正な管理や効率的な林業経営を進めるため林道の整備を行う。				
	概要	林道の改良、舗装、災害復旧工事を行う。県単林道事業(県:50%、市:50%)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	林道の改良、舗装、維持工事を民間業者に発注する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施箇所数		箇所	目標値	4	5	4	5	4
			実績値	4	4	4		
計算 根拠	実施箇所数	達成率	100	80	100			
		実数値						
			ランク	A	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	21,842	28,950	22,380	20,000	25,600		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	21,219	28,636	22,084	20,000			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	501	林道事業費(県補助)	25,600	25,600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	25,600

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	県単林道事業費補助金(県:50%)	12,800
2	林道整備事業債	11,500
3		
4		
5以降		
合計		24,300

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	森林整備および林業振興ならびに災害の未然防止を図るため、林道の路面の改良および溪流の土砂流出抑制の工事を実施する。 ・荒谷線(L型擁壁工10m、法面保護工200m2) ・椿坂西谷線(法面保護工200m2) ・石生谷線(路面改良210m) ・寺中線(法面保護工120m2)
来年度の実績	R3年度 尾花2号線、巳ノ松線、尾花線、沢線の林道改良を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	林道事業(単独)
R3年度 事業名	林道事業(単独)

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	森林の適正な管理や効率的な林業経営を進めるため林道の整備を行う。				
	概要	林道の小規模な改良、舗装、維持工事等を行う。(市:100%)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	林道の小規模な改良、舗装、維持工事を民間業者に発注する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施箇所数		箇所	目標値	3	5	4	2	2
			実績値	6	3	4		
計算 根拠	実施箇所数	達成率	200	60	100			
		実数値						
		ランク		A	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,000	2,000	2,400	2,000	2,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,998	1,999	2,068	1,993			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	202	林道事業費(単独)	2,000	2,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	林道整備事業債	1,800
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,800

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市内林道の崩土除去、路面改良・復旧等の維持工事を行う。 ・大野2号線、尾花線
来年度の実績	・石生谷線、椿坂西谷線、寺中線、荒谷線の維持工事を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	橋梁整備事業(新設改良・補修)
R3年度 事業名	橋梁整備事業(新設改良・補修)

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市道における橋梁の整備や補修を行い、安全で円滑な交通環境を確保する。				
	概要	橋梁の小規模な補強や改良工事または維持補修を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	道路法 民間等委託(一部)	実施 形態	内容	設計業務等の民間委託および橋梁の改良や補修工事を民間業者に発注	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
橋梁の安全確保のための工事・補修箇所数		箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	4	7	4		
計算 根拠	工事・補修対応箇所数	達成率	200	350	200			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,996	3,987	3,990	4,000			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	2	4	201	橋梁維持補修費	2,000	2,000	
2	8	2	5	501	橋梁整備事業費(単独)	2,000	2,000	
3								
4								
5以降								
							合計	4,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	維持
取組内容	橋梁パトロール点検の実施 橋梁の改良・補修の実施	
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし	
	R5方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	土地改良事業(県補助)
R3年度 事業名	土地改良事業(県補助)

総合戦略 体系	154	魅力ある雇用の創出	楽しくもうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-----------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	用排水路等の生産基盤整備により、農用地利用の高度化および農業経営の安定化を促進する。				
	概要	集落基盤整備事業 農業用排水路や農道、集落道等の改良工事を行う。(国:50%、県:20%、市:10~30%、地元:0~20%) 県単土地改良事業 農業用排水路や農道等の小規模な整備工事を行う。(県:50%、市:30~50%、地元:0~20%)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠	土地改良法	実施 形態	内容	農業用排水路や農道、集落道の整備を民間業者に発注する。	
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施箇所数		箇所	目標値	14	15	9	12	10
			実績値	15	15	12		
計算 根拠	実施箇所数	達成率	107.1	100	133.3			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	172,397	183,168	188,438	99,610	153,800		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	149,165	114,536	162,624	93,710			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	6	203	土地改良事業費(県補助)	153,800	153,800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	153,800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	土地改良事業(県補助)負担金(地元:0~20%)	3,600
2	農村総合整備事業負担金(地元:0~20%)	19,390
3	県単土地改良事業費補助金(県:50%)	16,900
4	集落基盤整備事業費補助金(国:50%、県:20%)	84,000
5以降	農業基盤整備事業債	27,700
合計		151,590

事業要員	正規職員	2.4
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容  
 ・国土強靱化対策として老朽化した農業用施設の改修を行い、維持管理費の軽減による農業経営の安定化を図る。  
 ・集落基盤整備事業については、R1~R6の間で事業費および施工地区の平準化を図りながら事業を実施する。(6箇所)  
 ・県単土地改良事業については、緊急性や必要性などを十分考慮し事業を実施する。(6箇所)

来年度へ向けて  
 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
 特になし

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	土地改良事業(単独)
R3年度 事業名	土地改良事業(単独)

総合戦略 体系	154	魅力ある雇用の創出	楽しくもうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-----------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	農道、用排水路等の生産基盤整備により農用地利用の高度化および農業経営の安定化を促進する。				
	概要	市内一円における農道や用排水路等の農業用施設のうち、小規模で緊急を要する整備修繕を行う。(市:60~70%、地元:30~40%)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	農業用排水路や農道の整備等を民間業者に発注する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施箇所数		箇所	目標値	13	8	3	3	3
			実績値	15	21	10		
			達成率	115.4	262.5	333.3		
計算 根拠	実施箇所数		実績値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	19,400	15,200	15,700	6,500	4,800		事業タイプ	単独事業
	決算額	16,428	14,227	12,802	5,010			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	6	204	土地改良事業費(単独)	4,800	4,800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	土地改良事業(単独)負担金(地元:30~40%)	1,390
2	農業基盤整備事業債	1,200
3		
4		
5以降		
合計		2,590

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	土地改良区からの要望に対して農業用施設(用排水路、揚水機場等)緊急性の高いものから順に工事や修繕を行う。
来年度の実績	・市単土地改良事業 上河内地区他9地区
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	生活排水路整備事業			
R3年度 事業名	生活排水路整備事業			
総合戦略 体系	447	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	道路・河川・公園の保全

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	浸水被害等を軽減し、市民の安全と生活環境の保全を図る。				
	概要	水害から市民のくらしを守るため、市が管理する生活排水路について、流下機能の強化など改良を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	設計業務の一部委託および水路工事を民間業者に発注している。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
治水や環境保全のため緊急を要する工事・補修箇所数		箇所	目標値	5	5	5	7	7
			実績値	12	12	8		
			達成率	240	240	160		
計算 根拠	水路整備箇所数		実績値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	10,700	11,781	10,280	10,280	15,280		事業タイプ	単独事業
	決算額	10,163	11,781	10,280	10,273			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	3	3	201	河川水路整備事業費(単独)	15,280	15,280	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	15,280

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない										
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ											
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み											
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある											
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">13</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善	有効性
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定								
13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善								
	9点~16点	維持または事務改善									

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	生活排水路等の改修工事を実施する。
来年度の実績	生活排水路等の改修工事を8箇所実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	古くに整備された既設生活排水路は、近年の集中豪雨等では断面不足が原因により溢水被害が各地で発生している。そのため、未整備水路の整備や既設排水路の改修が各地で必要とされる。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	道路消雪事業			
R3年度 事業名	道路消雪事業			
総合戦略 体系	447	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	道路・河川・公園の保全

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	冬期間の、通勤通学路の安全確保および円滑な道路交通を確保する。				
	概要	冬期の安全な通行を確保するため、消雪施設の整備を行い、大雪に備えた機能強化対策を実施する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	設計業務の一部委託および消雪工事を民間業者に発注している。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
道路消雪実施路線数		路線	目標値	1	1	1	3	3
			実績値	7	7	4		
			達成率	700	700	400		
計算 根拠			実績値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	92,706	184,925	163,318	152,000	60,000		事業タイプ	交付金事業
	決算額	92,706	184,925	163,318	152,000			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	2	3	203	社会資本整備総合交付金事業費	290,990	35,000	
2	8	2	3	754	社会資本整備総合交付金事業費(明許繰越分)	0	25,000	
3								
4								
5以降								
							合計	60,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会資本整備総合交付金	36,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		36,000

事業要員	正規職員	0.75
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 削減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	国土強靱化の対策として消雪施設の整備を実施する。 ・鯖江駅北線 ・河和田助生田線 ・寺中北中線 ・豊北参道線
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 各地区区長から消雪施設について多数要望を受けているが、まずは幹線道路や通学路などの優先に基づく消雪施設整備を実施する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 R5年度から新規2路線の幹線道路の消雪整備事業化を目指す。 ・豊北参道線(一部丸山北野線) ・吉江西番線
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	幹線道路整備事業
R3年度 事業名	幹線道路整備事業

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	老朽化の著しい幹線道路(都市計画道路)の改修を行い、安全で快適な通行を確保する。				
	概要	安全にかつ快適な道路環境の整備のため、幹線道路の舗装改良工事を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠	道路法	実施 形態	内容	設計業務の一部委託	
現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
幹線道路改良路線数		路線	目標値	1	3	4	6	6
			実績値	3	3	8		
計算 根拠			達成率	300	100	200		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	34,745	54,165	106,553	85,000	85,000		事業タイプ	交付金事業
	決算額	34,745	54,165	106,553	85,000			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	8	2	3	203	社会資本整備総合交付金事業費	290,990	20,000
2	8	2	3	754	社会資本整備総合交付金事業費(明許繰越分)	0	65,000
3							
4							
5以降							
						合計	85,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会資本整備総合交付金	42,500
2		
3		
4		
5以降		
合計		42,500

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	15
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	国土強靱化の対策として幹線道路の道路改良工事を行う ・丸山北野線 ・鯖江駅北線 ・長泉寺山トンネル線 ・染東線
来年度の実績	国土強靱化の対策として幹線道路8路線の舗装改良工事を実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	大型車の通行が多い幹線道路の舗装は、劣化進行が速いため、定期的な路面性状を調査し、メンテナンスサイクルにより舗装の長寿命化に向けた取り組みが必要であるため、持続的な予算確保が必要である。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	R4に取組む4路線の幹線道路の改良工事 ・鯖江駅北線 ・長泉寺山トンネル線 ・駅前線 ・染東線
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	松くい虫被害総合対策事業
R3年度 事業名	松くい虫被害総合対策事業

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	松くい虫被害対策を計画的かつ総合的に実施して、その蔓延を防止することにより松林を保全する。				
	概要	被害調査(県:1/2、市:1/2)、高度公益(県:3/4、市:1/4)、地区保全(県:1/2、市:1/2)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	松くい虫の被害調査や伐倒駆除を森林組合に発注する。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施集落数		集落	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	2	1	1		
計算 根拠	実施集落数	達成率	200	100	100			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,029	861	868	729	883		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	1,023	861	861	724			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	601	森林病虫害対策事業費	883	883	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	883

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	森林病虫害対策事業費補助金(県:50%)	459
2		
3		
4		
5以降		
合計		459

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <b>維持</b>
取組内容	特に松くい虫の被害の大きい河和田地区(尾花町)を中心に、病虫害の拡散を防止するため、松くい虫被害調査、伐倒駆除等について継続的に実施する。
来年度の実績	R3年度 市内一円の山林において伐倒駆除等を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	「松くい虫被害総合対策事業」と「松林再生モデル事業」はいずれも松林の保全を目的としているため、両事業を統合して「松林保全事業」とする。
R5方向性⇒	<b>事務改善(他事業との連携・統合)</b>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	作業路開設調査事業補助金
R3年度 事業名	作業路開設調査事業補助金

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	森林整備の促進を図るため、作業路調査を行い森林の健全育成に努める。				
	概要	越前福井森林組合が作業路を開設する前に実施する地籍調査、現地調査(調査に伴う伐開)、測量に対し補助金を交付する。(負担割合:市1/2以内)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	越前福井森林組合に補助金等を交付して適切な森林整備を図る。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
作業路調査延長		m	目標値	4,000	2,000	2,000	1,000	1,000
			実績値	1060	0	0		
計算 根拠	作業路調査延長	達成率	27	0	0			
		実数値						
			ランク	C	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	南越森林組合ほか3森林組合が、越前福井森林組合に合併したことに伴い、事業の見直しを行ったため。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,700	477	900	900	450		事業タイプ	単独事業
	決算額	988	477	0	0			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	6	2	1	605	森林組合補助金	1,155	450	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	450

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 森林の健全育成管理を図るため、除間伐、枝打ち、造林等、森林整備のための作業路開設調査費に対し補助する。

---

来年度の実績 R3年度 なし

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
南越森林組合ほか3森林組合が越前福井森林組合に合併したことに伴う事業の見直しのため、令和3年度を取組みが減となった。令和4年度から事業再開の見込み。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	間伐材等有効利用促進事業補助金
R3年度 事業名	間伐材等有効利用促進事業補助金

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	間伐材の搬出、運搬に係る経費を助成することにより、森林整備の推進、間伐材の利活用の促進を図るとともに森林所有者の森林管理意欲の喚起および森林の持つ多様な機能の高度発揮に資する。				
	概要	間伐材利用搬出促進事業の事業実施主体である越前福井森林組合に間伐材の搬出、運搬に対し補助金を交付する。（搬出した間伐材の材積に対して補助する。） 鯖江市1,700円/m <sup>3</sup> <参考:県1,700円/m <sup>3</sup> >				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	越前福井森林組合に補助金等を交付して適切な森林整備を図る。	

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	事業実績(量)	m <sup>3</sup>	目標値	330	600	300	300	300
			実績値	332	84	82		
	計算 根拠	間伐材搬出量	達成率	100.6	14	27.3		
			実数値					
		ランク	A	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	南越森林組合ほか3森林組合が、越前福井森林組合に合併したことに伴い、事業の見直しを行ったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,649	561	1,020	1,020	510		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,649	561	143	139			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	605	森林組合補助金	1,155	510	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	510

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 間伐材の利活用の促進を図るため、越前福井森林組合が集団的に行う間伐材搬出費用に対し補助する。

来年度の実績 R3年度 間伐材の搬出、運搬に対し補助を行った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
南越森林組合ほか3森林組合が越前福井森林組合に合併したことに伴う事業の見直しのため、令和3年度を取組みが減となった。令和4年度から事業再開の見込み。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	土地改良協会運営補助事業
R3年度 事業名	土地改良協会運営補助事業

総合戦略 体系	154	魅力ある雇用の創出	楽しくもわかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-----------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	鯖江市管内の土地改良区相互の連携を図り、土地改良事業等を円滑に推進する。				
	概要	土地改良協会の運営事業に対して補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	R2～3年度は予定していた各土地改良区を対象とした先進地視察を中止とした。R4年度も同様な状況であれば中止を検討する。				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	土地改良協会へ補助金を交付する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
補助土地改良区数		土地改良区	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11	-	-		
計算 根拠	土地改良区数	達成率	100	-	-			
		実数値						
		ランク	A	-	-			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	200	200	200	180	200		事業タイプ	単独事業
	決算額	200	200	0	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	6	606	土地改良協会等補助金	2,000	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者等に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 土地改良区相互の連携および協力、また、土地改良事業の円滑な推進が図れるよう組織体制を維持するために土地改良協会に対して運営費を補助する。  
・鯖江市管内の11土地改良区

来年度の実績 R3年度実績 なし

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	土地改良区合同事務所運営補助事業
R3年度 事業名	土地改良区合同事務所運営補助事業

総合戦略 体系	154	魅力ある雇用の創出	楽しくもうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-----------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	事務の効率化、低コスト化を図るため、土地改良区を連携させ、土地改良事業等が円滑に推進できる組織にする。				
	概要	土地改良区合同事務所の運営事業に対して補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	事務の効率化、低コスト化を図るため、土地改良区を連携させ土地改良事業等が円滑に推進できる組織にするため運営事業の補助を行う。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
合同事務所利用土地改良区数		土地改良 区	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
計算 根拠	土地改良区数		達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,800	1,800	1,800	1,620	1,800		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,800	1,800	1,800	1,620			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	6	1	6	606	土地改良協会等補助金	2,000	1,800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者等に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 鯖江土地改良合同事務所が行う土地改良区間の連携や事業の効率化、低コスト化、土地改良事業等の円滑化をより一層推進するため運営費に対して補助する。

来年度の実績 R3年度 土地改良合同事務所に対し土地改良事業等の円滑化をより一層推進するため、運営費に対して補助を行った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	林道維持管理事業
R3年度 事業名	林道維持管理事業

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	林道の維持管理を行い、林業生産の維持および経営の安定を図る。				
	概要	林道愛護組合等(上河内町・尾花町・沢町・椿坂・寺中町・上戸口町)に林道の維持管理の委託、砕石等原材料の支給を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	林道愛護組合等に林道の維持管理の委託、砕石等原材料の支給を行う。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
維持管理路線	路線	路線	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	13	13		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施距離	維持管理路線距離	km	目標値	35	35	35	36	36
			実績値	35	35	35		
計算 根拠	維持管理路線距離		達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	720	720	720	674	710		事業タイプ	単独事業
	決算額	670	720	720	634			経費区分	維持補修費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	401	林道維持補修費	710	710	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	710

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 林業生産の維持および経営の安定を図るため、林道愛護組合等(上河内町、尾花町、沢町、椿坂町、寺中町、上戸町)に林道の維持管理の委託、砕石等原材料の支給を行う。

来年度の実績 R3年度 林道愛護組合(6団体)へ林道の維持管理の委託を行った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	道路河川環境美化(里親制度)事業
R3年度 事業名	道路河川環境美化(里親制度)事業

総合戦略 体系	446	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち	美化活動の推進
------------	-----	-----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	市民の身近な公共物である道路の維持管理は、市の施策だけでは充分に行き届かず、雑草やごみなどにより道路環境の悪化につながるため、近隣に居住する市民団体等と協働しながら、道路の環境美化および適正な維持管理を実施する。				
	概要	市が管理する道路・河川において、道路・河川・公園養子縁組届および合意書を市長に提出した各地域の自治会または各種団体を里親として登録し、環境美化活動に対して報償費を交付する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	花苗、花種子、肥料、除草剤、草刈機油、鎌、移植ごて、ゴミ袋、軍手、お茶等の購入費用とし、金額は、5万円を限度として予算の範囲内で交付する。	
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	広報誌等による周知回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	新規里親登録の申出に対する養子縁組数		件	目標値	2	1			
				実績値	1	0			
	計算 根拠	新規里親登録申出数		達成率	50	0			
				実数値					
	里親制度登録町内における活動回数 ※2021～		回	目標値			19	19	19
				実績値			20		
	計算 根拠			達成率			105.3		
				実数値					
				ランク	C	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	900	930	930	900	800		事業タイ	単独事業
	決算額	727	707	643	690			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		
					予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	1	1	201 土木管理事務諸経費	5,995	800	
2							
3							
4							
5以降							
						合計	800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	本制度の普及啓発活動を推進し、里親となる団体数の増加を図るとともに、養子縁組した団体に積極的な活動を促し、道路河川的环境美化活動を市民との協働により推進する。
来年度の実績	新たな養子縁組の申請は無かったが、合計20団体が里親として、市民参加による道路河川の美化活動を実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	本制度の目的および意義について周知啓発を行うとともに、要望があれば出前講座など訪問して制度説明を行い、新たな養子縁組の開拓に取り組む。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	美しい森林景観再生事業
R3年度 事業名	美しい森林景観再生事業

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	自然災害等により荒廃が見られる山ぎわの森林の機能回復を図るため、花木などの広葉樹等を植栽して美しい森林景観の再生を図る。				
	概要	自然災害や森林病虫害等により機能が低下している森林の機能回復を図るため、広葉樹等の植栽を行い美しい森林景観を再生する。(県:90%、市:10%)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	花木などの広葉樹等の植栽を民間業者に発注する。	

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	美しい森林景観地区	地区	目標値	2	2	2	4	4	
			実績値	2	3	4			
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	事業箇所数	箇所	目標値	2	2	4	4	4	
			実績値	2	3	4			
			達成率	100	150	100			
	計算 根拠	実施箇所数	実績値						
ランク			A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,524	3,000	1,500	4,500	4,500		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	1,524	3,000	1,500	4,170			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	505	美しい森林景観再生事業費	4,500	4,500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,500

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	美しい森林景観再生事業費補助金	4,050
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,050

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	森林における山ぎわ景観を再生するため、また、鳥獣害対策として雑木除去および花木の植樹を行う。 ・石生谷、乙坂今北、出口木引、大谷
来年度の実績	森林における山際景観の再生を図るため、石生谷地区、乙坂今北地区、出口木引地区、大谷地区において雑木除去、花木の植樹を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	橋梁長寿命化修繕事業
R3年度 事業名	橋梁長寿命化修繕事業

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	橋長2m以上の橋梁について調査を行い、安心して通行できる道路橋梁の長寿命化を図る。				
	概要	安心して通行できる道路橋梁の維持保全のため、定期点検および詳細調査を実施し、橋梁の個別施設計画を策定または見直しを行い、計画に基づき橋梁の修繕等を進め長寿命対策による持続可能なまちづくりを推進する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	道路法 民間等委託(一部)	実施 形態	内容	橋梁の詳細調査・設計業務および工事を民間委託により実施する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
修繕対応箇所数		箇所	目標値	3	3	2	2	2
			実績値	6	6	5		
計算 根拠	修繕箇所数	達成率		200	200	250		
		実数値						
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	15,790	32,240	34,540	37,860	30,000		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	15,790	32,240	34,540	37,860			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	2	3	203	社会資本整備総合交付金事業費	290,990	2,000	
2	8	2	3	754	社会資本整備総合交付金事業費(明許繰越分)	0	28,000	
3								
4								
5以降								
							合計	30,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	社会資本整備総合交付金	16,500
2		
3		
4		
5以降		
合計		16,500

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	15
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	国土強靱化の対策として橋梁2橋の修繕工事を実施する。 ・水落橋 ・当田南橋
来年度へ向けて	R3年度 国土強靱化の対策として橋梁5橋について修繕工事を実施した。 ・出口橋 ・水落1号橋 ・水落6号橋 ・当田2号橋
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 中大橋梁について、現段階では早期措置を必要とする橋梁は少ないが、長寿命化するためには予防保全の対策を必要としているため、継続的な予算確保が必要である。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 橋梁法定点検結果や修繕計画を基に、市全体の中大橋梁の予防保全対策へのステージ移行が求められることから、最低2橋の中大橋の予防保全を実施していく。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	多面的機能支払交付金事業
R3年度 事業名	多面的機能支払交付金事業

総合戦略 体系	153	魅力ある雇用の創出	楽しくもわかる農業経営の確立	農業、農村の多面的機能の維持、発揮
------------	-----	-----------	----------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	地域の共同活動により機能を維持してきた農業用施設の日常的な保全管理活動および長寿命化のための活動等を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るとともに安定した食料供給に貢献する。				
	概要	農地維持支払:日常的な保全管理活動 田30千円/ha 畑20千円/ha (国:50%、県:25%、市:25%) 資源向上支払(共同活動):農地、農業用施設の補修、修繕などの活動 田18千円/ha 畑10.8千円/ha (国:50%、県:25%、市:25%) 資源向上支払(長寿命化):長寿命化のための活動 田44千円/ha 畑20千円/ha (国:50%、県:25%、市:25%) 推進交付金:事業の円滑な推進に必要な経費(国:100%)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	取組活動組織からの申請に基づき、国の実施要綱に照らし適正であれば交付する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
広域活動組織に加入していない3集落に対する加入推進のための説明		集落数	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
活動集落数		集落数	目標値	74	74	75	75	75
			実績値	74	75	75		
計算 根拠	活動集落数	達成率	100	101.4	100			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	143,174	141,780	161,457	141,836	160,502		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	143,174	141,574	143,034	141,836			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	6	205	多面的機能支払交付金事業費	164,715	160,502	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	160,502

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	多面的機能発揮促進事業費補助金(国1/2県1/4)	121,274
2	農地・水保管理支払交付金過年度負担金返還金	50
3		
4		
5以降		
合計		121,324

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農地維持支払、資源向上支払(共同活動)、資源向上支払(長寿命化)を実施する7組織に対して補助する。
来年度へ向けて	R3年度実績 農地の有する多面的機能発揮のために活動する7組織に対し補助を行った。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 特になし
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	農業水利施設保全事業
R3年度 事業名	農業水利施設保全事業

総合戦略 体系	153	魅力ある雇用の創出	楽しくもうかる農業経営の確立	農業、農村の多面的機能の維持、発揮
------------	-----	-----------	----------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	農業の基盤となる農地、農業用施設等の保全管理と農村環境の向上および農業生産基盤強化を図る。				
	概要	農振農用地除外地における農業用施設の保全管理と老朽化した農業用施設の補修等の活動に対し支援する。 鯖江市2,200円/10a				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	各活動団体に対して交付する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
啓蒙普及、活動体制強化のための説明会の開催	回	目標値		2	1	1	1	1
		実績値		2	1	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
活動組織数	団体	目標値		8	8	9	9	9
		実績値		8	9	9		
計算 根拠	活動組織数	達成率		100	112.5	100		
		実数値						
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,968	1,934	2,200	2,200	2,100		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,968	1,934	2,112	2,075			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	1	6	205	多面的機能支払交付金事業費	164,715	2,100	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,100

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	国の多面的機能支払交付金対象外の農地における地域共同活動(農地、農業用施設等の資源の日常的な保全管理活動)に対し補助する。
来年度の実績	国の多面的機能支払交付金の対象外の農地を保全するために活動する9組織に対し補助を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	松林再生モデル事業
R3年度 事業名	松林再生モデル事業

総合戦略 体系	436	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	公共施設等の長寿命化
------------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	松くい虫被害等により、昔の風景であった松林が失われており山林への意識が低下していることから松林の再生を行う。				
	概要	松くい虫被害等で荒廃している松林の手入れと抵抗性松の植樹による松林再生を市民協働で実施する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	松林再生のための森林管理を地元組織に委託する。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	松林再生等検討会の開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	松林の再生面積	ha	目標値	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
			実績値	2.9	2.9	2.9		
計算 根拠	再生面積	達成率	100	100	100			
		実数値						
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	200	200	150	140	140		事業タイプ	単独事業
	決算額	200	200	150	140	140		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	6	2	1	603	森林保全事業費	1,085	140	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	140

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">維持</span>
取組内容	松林の再生を目的として活動している「石生谷松林再生委員会」が行う下草刈等の森林保全活動に対して補助する。
来年度へ向けて	R3年度実績 石生谷松林再生委員会が行った下草刈りに対し補助を行った。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 特になし
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 「松林再生モデル事業」と「松くい虫被害総合対策事業」はいずれも松林の保全を目的としているため、両事業を統合して「松林保全事業」とする。
	R5方向性⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事務改善(他事業との連携・統合)</span>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

R4年度 事業名	地域ぐるみ除雪機械整備費補助金		
R3年度 事業名	地域ぐるみ除雪機械整備費補助金		
総合戦略 体系	447	安心で快適に暮らせるまちの創造	環境にやさしい魅力的なまち
		道路・河川・公園の保全	

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	県や市が行う学校周辺の一部の通学路の歩道を除き、歩道や幅員の狭い道路は、地域住民が協力し地域ぐるみでの除雪を行っているが、各公民館に1台ずつ配置している小型除雪車のみでは除雪効率が悪く、人員の確保も困難である。そこで、地域ぐるみで除雪を行う町内自治会等に対し、除雪機械および除雪用付属品の購入費を補助することにより、地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進する。				
	概要	補助対象者: 町内自治会等、本市の市道および歩道または公共施設の除雪を行うことを確約した団体 対象経費: 除雪機械および除雪用付属品の購入費 <補助率> 手押し小型除雪機 … 対象経費の2/3以内(補助限度額140万円) ホイールローダ … 購入費全額(補助限度額600万円) ※ H30.6要綱改正				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		町内自治会等、本市の市道および歩道または公共施設の除雪を行うことを確約した団体での除雪機械および除雪用付属品の購入費に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進する。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	区長会への事業説明		回	目標値	2	2	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	除雪機械購入費に対する補助実施数		件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	2	4		
	計算 根拠	補助実施数		達成率	0	200	400		
				実数値					
		ランク	C	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,700	6,000	1,400	8,800	2,800		事業タイ	単独事業
	決算額	6,602	0	977	7,559			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	8	2	2	203	道路除雪費	330,821	2,800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	集落活性化支援事業	1,400
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,400

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進するため、要望調査の結果を踏まえ、舟津町5丁目、神明町4・5丁目、深江町の計3町内に除雪機購入費への補助を行う。
来年度の実績	地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進するため、小泉町、日の出町、舟津4丁目、下野田町の計4町内に除雪機購入費への補助を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	地域ぐるみで除雪に取り組む自治会数を増やすために、本補助制度の周知・啓発を行う必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒